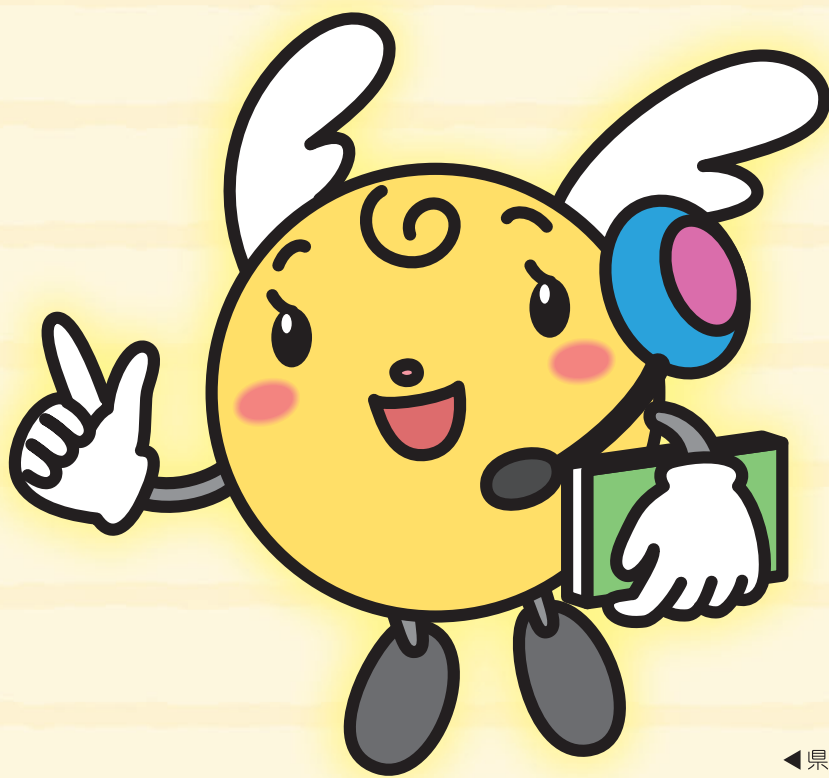


広島県立美術館 アートカード入門

—— 鑑賞学習へのヒント ——



◀ 県立美術館ガイド
ミューズちゃん

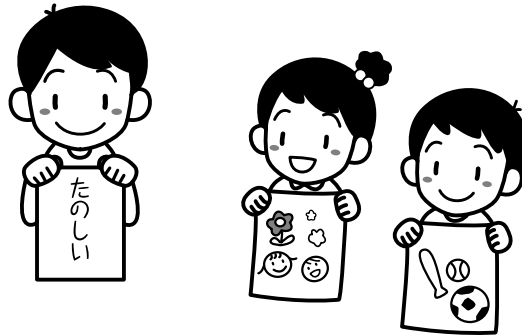
広島県立美術館

一般的な使い方

1 キーワード・ゲーム

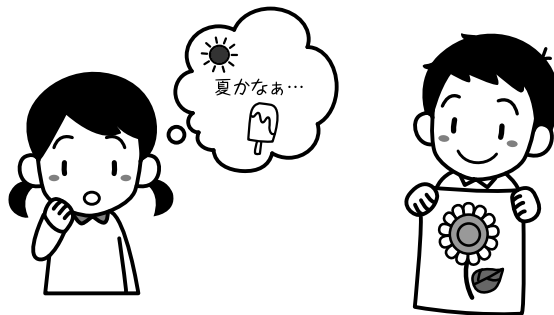
あらかじめ用意した「キーワード」にあてはまると思われる作品を選ぶ。言葉と作品を結びつけるゲーム。

- ①アートカードを表向きに並べる。
- ②リーダーは、「あつい」「やさしい」「たのしい」（形容詞）、「音楽」「生命」「夢」（名詞）などの言葉を大きな模造紙に書き出す。
- ③プレイヤーは、それらの言葉に当てはまると思うカードを選んで、他のプレイヤーに説明する。付箋に理由を書くというのも可。この場合は、模造紙に付箋を貼り出しても良い。
- ④みんなで交流し合う。



季節を見つけ（キーワード・ゲームの応用編）

作品のイメージなどから、「春」「夏」「秋」「冬」の四季に分ける。



五感でキャッチ（キーワード・ゲームの応用編）

「音」「におい」「味」「触感」で、作品を分類する。



2 マッチング・ゲーム

2枚のカードの共通点を見つけ出し、それを言葉で説明する。

- ①リーダーは、アートカード1枚を表向きに、中央に置き、残りのカードを全部配る。
- ②プレイヤーは、中央のカードと共通点のあるカードを、手持ちのカードから選び、中央のカードの隣に置く。カードを置くためには、共通点と思うところを、他のプレイヤーに説明し、同意を得なければならない。
- ③手持ちのカードが無くなれば、終了。



3 あなたに贈るこの一作

他の人や自分に贈るとしたらどの作品が良いかを選び、その理由を考える。

- ①家族や友人、先生にプレゼントするとしたら、どの作品かを考えて1点選ぶ。
- ②その理由を言葉で伝えるか、手紙などで文章にする。



4 わたしのミニ美術館

テーマを決め、それに添った作品を選んで展覧会を組み立てる。

①どんなテーマの展覧会にしたいか、テーマを決め、テーマに沿った作品を3～5点程度選ぶ。

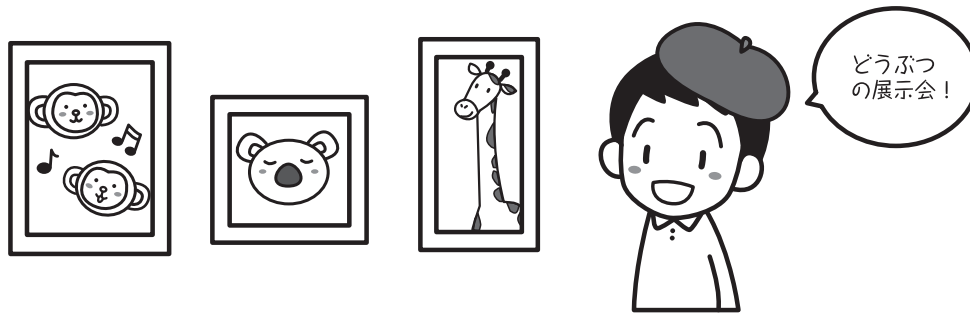
例：動物、風景、色

②展覧会名や、テーマを選んだ理由、作品のコメントを考える。

③カードを画用紙等に貼り出し、コメントをつける。

④みんなで、鑑賞し合い、交流する。

※使いたいカードが他のプレイヤーと重なった場合は、自分の展覧会にどれだけその作品が必要なのか、相手に説明して、必要とする方がそのカードを使うなど、話し合いで解決するようにする。



5 お話作りゲーム

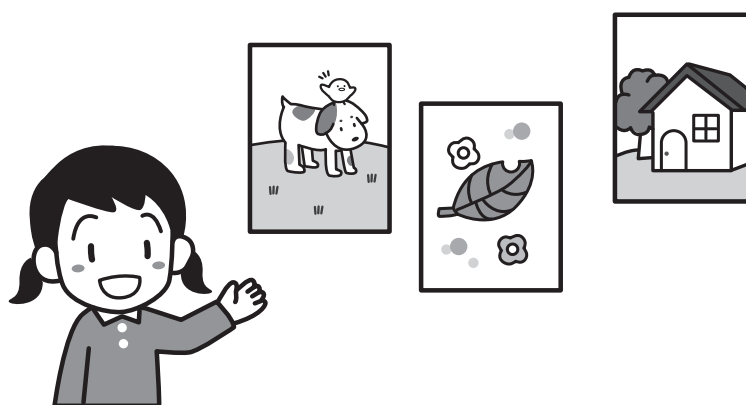
3枚のカードを使って、自由にお話を作るゲーム。

①アートカードを表を向けて中央に並べ、プレイヤーは順番に1枚ずつ取り、3枚を選ぶ。

②選んだ3枚のカードを使って、即興でお話をつくる。

※考える時間をとる。起承転結が無くても良い。

③みんなで、楽しむ。



アートカードを用いた授業づくりのポイント

アートカードは、美術に親しませることなどを目的とした初期段階の学習とともに、美術の専門的内容をゲーム感覚で学ばせることを想定して開発された教材である。教材としての特徴には、①子どもが実際に手に取って美術作品の詳細を見ることができること、②あらゆる時代・文化の多様な美術作品と一度に出会わせることができること、③ゲームによる学習を通して学習効果を高めることができることが挙げられる。授業づくりに際しては、セットのカードのみでなく、学習者のニーズに合わせて、教師自身が作成した手作りカードを加えて用いてもよい。以下の表は、授業の目標設定において考慮したい発達段階の概要と子どもの能力を示している。(中村和世)

発達段階の概要と子どもの能力

	発達段階の概要	子どもの能力
幼児期	短い時間で繰り返し行う学習活動によって認知発達が促される。知覚的発達が極めて高い時期であり、あらゆる感覚の働きを伴う学習方法が効果的である。	<ul style="list-style-type: none"> ○明るい色と暗い色を見分けることができる。 ○丸、三角、四角のような基本的な形を見分けることができる。 ○曲がった線やまっすぐな線、太い線や細い線など、線の特徴を見分けることができる。
小学校低学年	作品に明白な造形的特徴や、物語のメッセージを認識することができる。動物、家族、周りの人々など、子ども自身の身近にある題材を通して、美術に興味を持つようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ○作品の類似点と相違点を見つけることができる。 ○さまざまな色を識別し、色から受ける感じを話し合うことができる。 ○さまざまな線を識別し、線から受ける感じを話し合うことができる。 ○美術の新しい用語を学び使うことができる。
小学校中学年	抽象的な作品よりも写実的な作品を好む傾向がある。肖像画、風景画、静物など美術のジャンルを識別することができる。また、作品の制作過程について関心を持つようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ○肖像画、風景画、静物など美術のジャンルを識別できる。 ○絵具、大理石、木などメディアの違いを識別できる。 ○前景、中景、背景を用いた基本的な奥行きを理解できる。 ○全体の作品における部分的要素の役割について話し合うことができる。
小学校高学年	写実的な作品のみでなく、ファンタジーや架空の物語を題材とした作品に興味を持つようになる。作品を分析的にみることができる。子ども自身の個性的な表現様式が発達し始める。	<ul style="list-style-type: none"> ○スタイルの違いによって作家の作品を識別できる。 ○作品の構成について分析的に話し合うことができる。 ○造形要素である明暗や空間について話し合うことができる。 ○色について、色調、色価、強度のコンセプトについて話し合うことができる。
中学校	作品制作、美術に関する考察や話し合いにおいて、抽象的なコンセプトを組み入れることができる。美術の専門的内容を探求することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○バランス、リズムなど高度なコンセプトを含む構成原理を認識できる。 ○構成の効果について理解できる。 ○文化的・歴史的な背景について考えながら作品をみることができる。 ○作品の象徴的な表現に隠された意味を考えることができる。

実践授業例 1

題材名「こんなお話が聞こえてきたよ！」

尾道市立土堂小学校
山藤 裕子

対象学年：低学年

アートカード：No.9 No.13 No.20 No.30 No.31 No.32 No.34

※アートカードの番号は、「作家・作品解説」(pp.22-40)の番号に対応しています。

1 ねらい

- ・ 作品と触れ合い、作品の形や色、表し方の面白さなどに気づき、見ることを楽しもうとする。
- ・ 友達といっしょに作品を見合い、感じたことや思ったことを話し合いながら、作品の面白さや楽しさを感じ取ることができる。

2 準備物

アートカード、アートカードの拡大コピー（黒板掲示用）、ワークシート

3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点	
○ 7 枚の作品に出会う。	<ul style="list-style-type: none">・ 鑑賞活動を楽しむために、7 作品の拡大コピー（A3 サイズに拡大）を大封筒に入れておき、少しずつ出しながら、披露することで、意欲的に鑑賞する雰囲気を作る。・ 7 枚の拡大コピーを黒板掲示し、より身近に触れることができるように、同じ作品のアートカードをグループに 1 セットずつ配布する。	
○ 自分の好きな作品を 1 点選ぶ。		<ul style="list-style-type: none">・ 「自分の気に入った作品を 1 枚選びましょう。選んだ作品からどんなお話が聞こえてきますか。」という発問をし、形や色、作品のおもしろさなどに着目させるための動機付けを行う。
○ 本時の学習のめあてを確認する。		<ul style="list-style-type: none">・ 選んだ作品から聞こえてくるお話を吹き出しにして、ワークシートに書かせる。
<p>こんなお話が聞こえてきたよ。絵から聞こえてきたお話を交流しよう。</p>		
○ どの絵から聞こえてくるお話か、話し合う。	<ul style="list-style-type: none">・ 吹き出しの言葉のみを発表し、それをヒントにどの作品のお話なのか、クラス全体で当てることを伝えておく。・ 吹き出しの発表を聞いて、どの絵なのか、考えて発表する際、色や形に着目しながらその理由も発表させる。・ 形や色などに着目させるために、児童から出た発言を形や色などの視点で整理しながら板書していく。	
○ 本時の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none">・ 作品に対する一人一人の見方や感じ方の違いに気づかせるために、1 枚の作品からも色々なお話が聞こえてくることを確認する。	

授業の様子



児童の感想

- ☺ ふきだしやなにをしゃべっているのかをそうぞうできてべんきょうになりました。
- ☺ ともだちのクイズのこたえをみんなでかんがえるのがたのしかったです。
- ☺ おともだちのかんそうはおもしろかった。ひとりひとりがちがういけんだからまちがっていても、べんきょうになった。

ワークシート

月 日 名まえ []

こんなおはなしがきこえてきたよ!
~アートカードをつかって~

実践授業例 2

題材名「せんとおそぼう」

東広島市立三永小学校
富永 美智代

対象学年：低学年

アートカード：No.14 No.22 No.24 及び、教師が作成したアートカード（線の特徴がはっきり分かる4作品）

※アートカードの番号は、「作家・作品解説」（pp.22-40）の番号に対応しています。

1 ねらい

- ・アートカードを使った活動に関心をもち、楽しく見ようとする。
- ・線には、いろいろな表情があることに気づき、思ったことを話しながら、楽しく見ることができる。

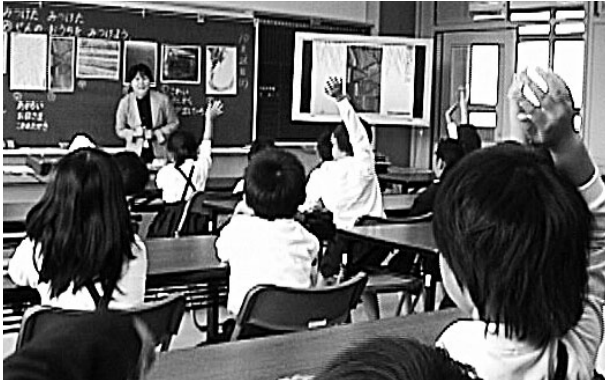
2 準備物

アートカード、教師が作成したアートカード（線の特徴がはっきり分かる4作品）、全てのカードの拡大コピー（黒板掲示用）、電子黒板、ワークシート

3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点
○教室の中にあるさまざまな線を見つける。	・線には、いろいろな線（まっすぐな線・曲がった線・太い線・細い線）があることを知らせる。
○本時の課題を知る。	
せんのおうちをみつけよう。	
○どの作品から、抜け出したのかを見つけ、その理由を伝え合う。	・事前に、アートカードセットにある作品と合わせて、名井萬電「道」、児玉希望「海禾」「瀾」、金光松美「SORCERY HOLIDAY」など、線の特徴がはっきり分かる作品のカード（児童用）と、拡大コピー（黒板掲示用）を準備する。
○ワークシートに好きな作品から見つけた線を描く。	・線が特徴的である作品の拡大コピーを黒板に7枚提示する。 ・電子黒板に作品の一部である線を映し出し、どの作品から抜け出したのかを見つけることを知らせ、本時の意欲を高めるようにする。 ・なぜ、その作品から抜け出した線なのかを理由をつけて言わせる。 ・一人一人の感じ方の違いに触れさせ、楽しみながら見ることができるようになる。
○作品は、いろいろな線からできていることを知る。	・線だけに注目させるために、線の色は付けさせず、黒のマジックで描かせる。 ・どの作品から抜け出した線なのか、描いた線をお互いに見せ合いながら見つけさせる。

授業の様子



児童の感想

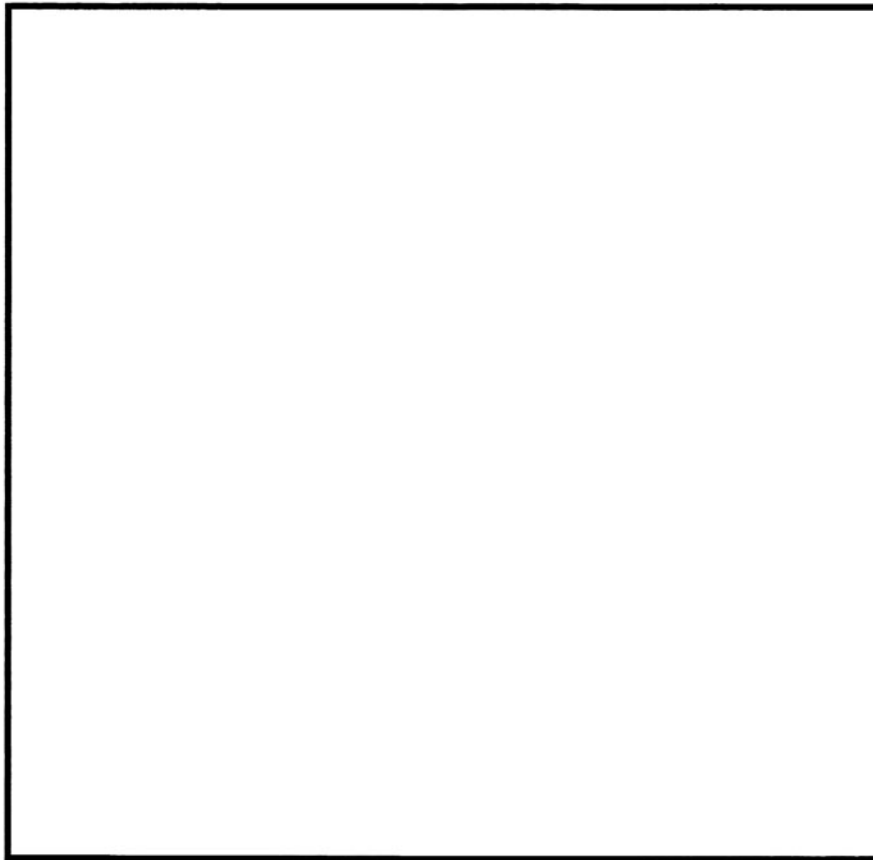
- ☺ おもしろいせんをかいてみたい。
- ☺ こんどはじぶんがかきたい。
- ☺ もっといろんなせんをつくったえをみてみたいです。

ワークシート

せんと あそぼう

1ねん ()

○きにいった せんを まねして かこう。



このせん どんなかんじ?

実践授業例 3

題材名「五感でキャッチ！」

－アートカードカルタ読み札づくり－

広島大学附属小学校
國清 あやか

対象学年：中学年

アートカード：具象作品グループ…No.12 No.13 No.30 No.32 No.34 No.35 No.38 No.45 No.46 No.52 No.55
抽象作品グループ…No.6 No.14 No.22 No.24 No.27 No.28 No.33 No.43 No.51 No.53 No.56

※アートカードの番号は、「作家・作品解説」(pp.22-40)の番号に対応しています。

1 ねらい

- ・アートカードカルタ大会のための読み札づくりを鑑賞の活動を通して行うことで、友達の感じ方のよさに気づくとともに、自分なりの感じ方を広げたり深めたりすることができる。
- ・抽象作品と具象作品のそれぞれのよさを味わうことができる。

2 準備物

アートカード、アートカードNo.32とNo.56の拡大コピー（黒板掲示用）、ワークシート

3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点
<p>○具象作品であるNo.32、抽象作品であるNo.56の拡大コピーを黒板に掲示し、五感（音、匂い、味、感触、気持ち、季節・時間）を働かせながら鑑賞する。</p> <p>○2作品を表す俳句を詠み、クラス全体で交流する。</p> <p>○本時の学習のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・アートカードを具象作品グループと、抽象作品グループに分けておく。・2つの作品から「音」「匂い」「味」「感触」「気持ち」「季節・時間」を感じとらせイメージをクラス全体で交流する。・イメージを言葉で表しながら俳句を詠み、クラス全体での交流を通して、多様な感じ方や似ている感じ方を発見させる。
<p>五感でキャッチ！アートカードカルタの読み札をつくらう</p>	
<p>○具象作品グループと抽象作品グループから1枚ずつ選び、五感を働かせて鑑賞しながら、俳句を詠み、アートカードカルタの読み札を作る。</p> <p>○五感の活用を示したワークシートにイメージを言葉で表現し、言葉を手がかりに俳句（カルタの読み札）を作る。</p> <p>○本時の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none">・アートカードカルタ大会を次の時間に行うことを伝え、各自で具象作品と抽象作品の2作品を鑑賞し俳句を詠む。・五感から感じられるイメージを言葉で表し、俳句に生かすことを伝える。・抽象作品と具象作品のそれぞれのよさについて気づかせる。

授業の様子



児童の感想

- ☺一つの絵でも作者の気持ちとみんなの考え、気持ち、感じたことは、ちがうことがわかりました。
- ☺抽象作品でもたくさんイメージがうかぶようになった。
- ☺絵をかんしょうして、はい句にするのは、とてもおもしろいと思いました。

ワークシート

アートカードを五感でキャッチ! ①

作品からイメージをふくらませよう!
作品から感じる「音」「におい」「味」「感触」「気持ち」「季節・時間」を言葉で表そう。

部 4 年 番 名 前

音

匂い

味

感触

気持ち

季節・時間

ここで一句

実践授業例 4

題材名「アートボックスかくれんぼ」

広島大学附属三原小学校
中島 敦夫

対象学年：中学年

アートカード：No.1～29 No.33 No.36 No.37 ※1グループ20～30枚程度が理想的である。

※アートカードの番号は、「作家・作品解説」(pp.22-40)の番号に対応しています。

1 ねらい

- ・アートゲームを通して、作品を身近なものに感じ、興味を持って作品を見ようとするができる。
- ・五感で感じられることを基に想像を広げ、形・色・イメージ等を手がかりに自分なりの見方・感じ方で鑑賞することができる。

2 準備物

アートカード、五感の特質を表すアートボックスとしての箱（重い箱、香りのする箱、音のする箱等）、ワークシート

3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点
○本時の課題を知る。	<ul style="list-style-type: none">・事前に、教師側で、視覚、聴覚、嗅覚、触覚など五感の特質を表す箱（重い箱、香りのする箱、形に特徴のある箱、和紙でできた箱、振ると音のする箱等）を作り、この箱をアートボックスとして使用する。・アートカードを使ったゲームによって学習を進めていくことを伝え、意欲を高める。
アートボックスにぴったりのアートカード作品を自分なりの見方・感じ方でさがそう	
○アートボックスをグループごとに配布し、ボックスの特徴に合うアートカード作品を見つけ、その理由を伝え合う「アートボックスかくれんぼ」のゲームを通して、鑑賞を行う。	<ul style="list-style-type: none">・形・色・イメージなどを手がかりにアートカード作品を選ぶことを伝える。・「アートボックスかくれんぼ」ゲームのやり方を伝える。
<p>A:「ボックスの中には何番のカードが入っているでしょう。」 B:「〇番のカードがかかれています。理由は…」 【正答のとき】 A:「見つかりました。私は、…なので、このカードを箱の中に入れました。」 【誤答のとき】 A:「ボックスの中は、〇番のカードではありません。Bさんがヒントマンになってください。(Bはヒントマンとしてボックスの中のアートカードを見て、ヒントを出す。ヒントは、形・色・イメージの特徴から考える。) B:ヒントを出します。…です。 C:〇番のカードがかかれています。理由は…だからです。 ※このやりとりを繰り返す。</p>	
○本時の学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none">・自分なりの見方や感じ方を生かしながら鑑賞することの楽しさと大切さを認識させる。

授業の様子



児童の感想

- ☺ すごくみんな楽しんでいたし、自分も楽しかったので、またやりたいと思いました。
- ☺ アートカードを使って、世界や日本には、すごいカードがあるんだと感じられた。
- ☺ 今回のカードには、楽しそうなものや、悲しそうなものや、嬉しそうなものがあったけど、一人ひとり感じ方がちがって、面白くできました。

ワークシート

アートカード かんしょう **鑑賞団** ほうこく **活動報告書**

月 日 年 組 番 ()

今日の活動内容

アートボックスかくれんぼ

○どの箱にどのカードを入れますか？

()の箱に()番のカードを入れます。

わたしの理由

○今日の課題が達成できた

ばっちり	まあまあ	あまり	ぜんぜん

○課題のふりかえり

実践授業例 5

題材名「よくみてさがそう!! アートカード」

広島市立東野小学校
増田 紀美

対象学年：中学年

アートカード：No.1～29 No.33 No.36 No.37

※アートカードの番号は、「作家・作品解説」(pp.22-40)の番号に対応しています。

1 ねらい

- ・アートカードを用いた話し合いを通して、形・色・線などの造形要素に着目しながら自分の感じ方で作品を見る。

2 準備物

アートカード、アートカード掲示用台紙、ワークシート

3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none">○アートカードを使ったマッチングゲームをグループごとにする。○本時の課題を知る。	<ul style="list-style-type: none">・ゲームを通して本時の鑑賞活動に意欲がもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">よくみてさがそう!! アートカード 形・色・線などをよく見て、自分の感じ方でカードを選ぼう</div>	
<ul style="list-style-type: none">○グループごとに、与えられたテーマ（「やさしい」「しずかな」「あたたかい」「にぎやかな」）にしたがって一人ひとりがカードを選び、交流する。・32枚から自分で1枚選び、理由をワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none">・グループごとに、「やさしい」「しずかな」「あたたかい」「にぎやかな」というテーマを与える。・選んだ根拠をはっきりさせるよう、言葉がけをする。・自分の思いを話したり、友達の思いを聞いたりする中で、形・色・線に着目するよう言葉がけをする。
<ul style="list-style-type: none">○グループごとに、選んだカードを紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none">・それぞれのグループで発表を行い、根拠をはっきりさせながら選んだカードを説明・紹介させる。・形・色・線に着目している理由を評価する。
<ul style="list-style-type: none">○クラス全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none">・「やさしい」「しずかな」「あたたかい」「にぎやかな」というテーマごとに、選ばれた作品を黒板に掲示し、グループの代表者に発表させる。
<ul style="list-style-type: none">○学習の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none">・自分の感じ方で作品を鑑賞することの大切さについて気づかせる。

授業の様子



児童の感想

- ☺ みんなそれぞれカードを選んで理由を話したけど、みんな見方や感じ方がちがうんだなと思いました。
- ☺ みんながいろいろな絵を選んでいて、みんなが選んだ絵を見ると、その人がどんな感じが分かりました。
- ☺ どの班もすごく工夫があってよかったです。またやりたいです。

ワークシート

図画工作科ワークシート
鑑賞学習

月 日

よくみて さがそう!! アートカード

名前 _____

アートカードの番号 ()

この絵を選んだ理由は、

学習のふりかえり

今日の学習で感じたこと、思ったことは

*学習のふり返し ◎ ○ △

○形・色・線などから、理由を考えながら自分の考えで見ることができましたか? ()

○友だちの考えや思いを相手の顔を見て、しっかり聞くことができましたか? ()

○自分の考えや思いを、発表することができましたか? ()

実践授業例 6

題材名「アートカードから広がる世界」

尾道市立瀬戸田小学校
青山 寿重

対象学年：高学年

アートカード：No.1 No.2 No.5 No.7 No.9 No.10 No.13～20 No.22～24 No.26 No.29 No.37

※アートカードの番号は、「作家・作品解説」(pp.22-40)の番号に対応しています。

1 ねらい

- ・「喜び」をテーマとして、アートカードの作品、及び、アートカード3枚を基に製作された自分達のオリジナルの作品について、形や色、イメージなどを手がかりに、表現のよさや工夫に関心をもって話し合うことができる。

2 準備物

アートカード、ワークシート

3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点
○本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none">・これまでの学習において、児童は、アートカードセットから「喜び」が感じられる作品3点を各自で選んで相互に鑑賞し合い、それらを基に、「喜び」をテーマとするオリジナルの絵画作品を製作している。・形や色、イメージなどを手がかりにアートカードや自分達の作品のよさを交流するねらいをはっきりもたせる。
<p>「喜び」を表すアートカードや友達の作品のよさについて、形や色、イメージなどを手がかりに感じたことを交流しよう。</p>	
○アートカード作品の「喜び」の表現から参考にした点や自分なりに感じたテーマなどを発表させる。	<ul style="list-style-type: none">・「喜び」を表現するアートカード作品の工夫点を、「形」「色」「イメージ」の視点で話し合わせる。
○「喜び」を表現するアートカード、及び、アートカードを基に製作された自分や友達の作品の表現の工夫について交流し合う。	<ul style="list-style-type: none">・「喜び」を表現するアートカードと照らし合わせて、自分達が作品を通して表そうとしたテーマを交流させ、考えを深めさせる。・肯定的な視点で交流させる。
○本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none">・作品には制作者の思いが詰まっていることや、形や色、イメージによってすばらしい表現ができることに気づかせる。・見る楽しさや表現する楽しさを共有しながら作品の見方を広げる活動のよさに気づかせる。

授業の様子



児童の感想

- ☺ アートカードの学習をして僕は、ほかの人もいろいろな感じ方があるんだなあと思った。これからは絵をかんしょうしていきたいです。
- ☺ 私は、「音楽」を共通テーマにして絵を描いた。今までで一番いい作品になったと思う。また、アートカードを使った学習をしたいと思う。
- ☺ 私はアートカードを使って、一人一人の制作者の描き方や作品が分かってよかったと思います。作品のかなしそうな絵や楽しそうな絵は制作者の心境を表しているのかなと思いました。

ワークシート

アートカードから広がる世界① 名前:

☆私(僕)は、これらの絵に「喜び」(希望)を感じたよ

(アートカードのコピーを貼付)	イメージ	(アートカードのコピーを貼付)	イメージ	(アートカードのコピーを貼付)	イメージ

形: _____ 形: _____ 形: _____

色: _____ 色: _____ 色: _____

☆これらの絵に共通するイメージ(テーマ)はこれだ

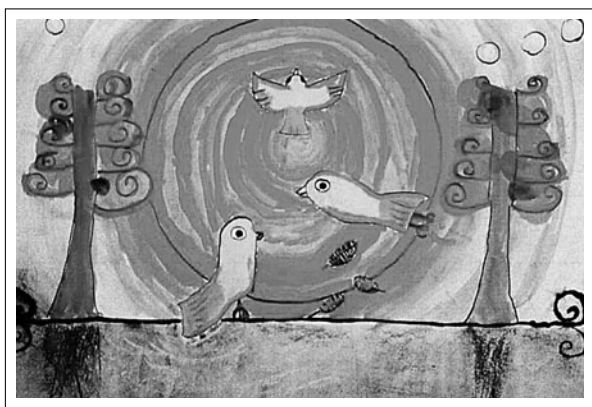
アートカードから広がる世界② 名前:

☆私(僕)の表現した「喜び」(希望)のテーマはこれだ

私(僕)の作品名:

振り返り:

児童の作品例



作品名「朝日で輝く生き物達」



作品名「弾ける音楽の世界」



作品名「伸びる木や花」

実践授業例 7

題材名「マイ・コレクションをつくろう」

三原市立椹梨小学校
岡畑 里智子

対象学年：高学年

アートカード：1セット全部（No.1～56）

※アートカードの番号は、「作家・作品解説」（pp.22-40）の番号に対応しています。

1 ねらい

- ・お気に入りのアートカードを集めてマイ・コレクションを作り、友達とコレクションを鑑賞し合う中で、いろいろな見方・感じ方に気づき、自分自身の見方・感じ方を広げ深めていく。

2 準備物

アートカード、ワークシート

3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点
○マイ・コレクションをつくる。 ○本時の課題を知る。	・グループで1セットのアートカードを卓上に広げ、お気に入りのカードを3枚～5枚集め、マイ・コレクションを作る。 ・マイ・コレクションのテーマと紹介文をワークシートに書く。
コレクションのテーマを考えよう	
○グループごとに、友達のコレクションを鑑賞する。 「わたしのコレクションのテーマは何だと思いますか。」「どうしてそう思いましたか。」	・友達のコレクションを鑑賞し、「テーマは何だと思うか」「なぜそう思ったか」についてワークシートにメモさせる。 ・児童が発表しやすいように、対話内容を示範する。 ・紹介文をヒントとして発表させる。 ・テーマが分からないときは、コレクションを再度見て感じたこと、見つけたこと、気づいたことなどを話し合うことで、推察させる。 ・1人2分として話し合い、テーマが当たらないときはコレクターがテーマについて発表する。
○グループの中から1名を選び、クラス全体の場で発表する。	
○学習を振り返り、自分の感想をまとめる。	・それぞれの見方・感じ方はいろいろであることを認識させる。

授業の様子



児童の感想

- ☺好きな物を集めるのがとても楽しかったです。またやりたいです。
- ☺ふつうの人では、想像できない作品ばかりで、楽しかったです。
- ☺ふだんの風景でも、絵にあらわせば、とっても芸術的になるので、びっくりした。

ワークシート

<h1>図工日記</h1>	
月 日 名前	
マイ コレクションを作ろう	
<p><small>*コレクションしたものの写真をあとで貼る。</small></p>	<p>コレクションのテーマ</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
コレクションの紹介をしよう	
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	
友だちの作品の感想	
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	

実践授業例 8

題材名「場所にあった作品を選ぼう」

広島市立吉島東小学校
佐々木 芳

対象学年：高学年

アートカード：No.10 No.14 No.21 No.22 No.24 No.33 No.43 No.51 No.52 No.53 No.56

※アートカードの番号は、「作家・作品解説」(pp.22-40)の番号に対応しています。

1 ねらい

- ・場所と作品の結びつきを考えながら、楽しく自分の感じたことを話したり、友達の考えや思いを聞いたりする。
- ・場所と作品との結びつきを考えることにより、色や形などに着目しながら、自分なりの見方を広げ、深める。

2 準備物

アートカード、アートカードの拡大コピー（黒板掲示用）、場所の名前を書いたカード5枚、写真（TV画像）、ワークシート、ワークシートの拡大コピー（黒板掲示用）

3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点
<p>○レストランに絵が飾ってある写真を見る。 「お店に合った絵が飾ってありますね。」</p> <p>○本時の活動を示範する。 「プールに飾りたい作品はこの作品です。 そのわけは…。」</p> <p>○本時の課題を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none">・日常の中に、場所にあった作品が置いてあることに気づかせる。・場所カード「プール」とアートカードNo.53「神経質な鳥」(拡大コピーしたもの)を黒板に提示し、ワークシート(拡大コピーしたもの)に書き込みながら、これからの活動を示範する。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">場所にあった作品を選ぼう</div>	
<p>○アートカードと場所カードの組み合わせを考える。 ・裏返した場所カードを1人1枚ひく。 ・その場所に合ったアートカードを選ぶ。</p> <p>○ワークシートに自分の考えを記入する。</p> <p>○グループの中で発表し合う。</p> <p>○全体で発表し、意見を交流する。 「…(場所名)には、…番の作品が合います。そのわけは…。」</p> <p>○本時の学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none">・グループごとに、場所カード5枚（図書室、音楽室、保健室、玄関、運動場）とアートカード10枚を配る。・作者名や作品名は明らかにしない。・別々の場所に対して同じカードを選んでもよい。・その組み合わせにした理由を、色や形などについて明確にして記入することを確認する。・同じ場所に対しても、別の作品を組み合わせた意見を比べ、それぞれの感じ方の違いとそのよさを確かめる。・飲食店や市民ホールなど、児童にとって身近な場所にある作品の写真を見せ、日常生活の中の様々な場所に作品があることにふれる。

授業の様子



児童の感想

- ☺ いろんな人が思うことがあって、みんな考える気持ちはすごいなと思いました。また、意見がちがっても、なっとくできる理由を持っていて面白いなと思いました。
- ☺ ふつうにかざってあったら何も感じないかもしれないけれど、アートカードでやってみると、いろんな事を感じられました。また、授業をしたいです。
- ☺ いろんなことが感じられたし、想像もできました。少し頭を使うのがおもしろいと思ったけど、新しいことを楽しく学べました。

ワークシート

場所に合った作品を選ぼう

5年 組 名前 ()

* には 番の作品が合います。

そのわけは.....

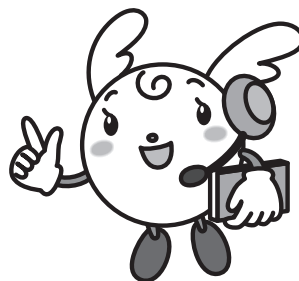
.....

.....

.....

アートカードの貸出について

- 【貸出対象】 原則として、広島県内の学校や社会教育施設を対象とします。
- 【貸出期間】 1か月（輸送期間を含みます）
- 【貸出方法】
- ・事前に電話でお問い合わせください。
 - ・電話での確認後、「借用申請書」に必要事項を記入し、ファックスでお送りください。
 - ・使用料は無料ですが、郵送をご希望の場合は、送料をご負担ください。また、美術館に直接取りに来ていただくこともできます。
- 【注意事項】
- ・紛失や破損等のないように気をつけてください。
 - ・返却の際は、アートカードの数量や順番を確認し、整理したうえで返却してください。
- 【問合せ先】 広島県立美術館
- 〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22
- TEL 082-221-6246
- FAX 082-223-1444



借用申請書

年 月 日

広島県立美術館長 様

所属名

代表者名

所在地

連絡先 TEL ()

FAX ()

次のとおりアートカードの貸出を申請します。

アートカード希望数 ※56種で1セットです。	()セット
「広島県立美術館アートカード入門」の貸出 (いずれかに○)	希望する 希望しない
使用目的	
使用対象 (例:2年生2クラス 計40人)	()年生 ()クラス ()人
使用期間 (輸送期間を含め1か月以内)	年 月 日から 年 月 日まで
取扱責任者	
貸出方法 (いずれかに○)	来館手渡し 宅配便
備考	